

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「腎細胞癌に対する IO-TKI、IO-IO 治療前後の脾臓体積と予後予測に関する研究」

へご協力のお願い

—2018年1月1日～2025年3月31日までに

当科において腎細胞癌に対する 1 次化学療法(分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬併用療法、免疫チェックポイント阻害薬併用療法)治療を受けられた方へ—

研究機関名：三重大学医学部附属病院

研究責任者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 井上貴博

研究分担者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 准教授 西川晃平

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 講師 佐々木豪

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 東真一郎

三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 助教 杉野友亮

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 加藤桃子

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 景山拓海

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 西川武友

三重大学医学部附属病院 高度生殖医療センター／腎泌尿器外科 助教 大和俊介

個人情報管理者：附属病院 高度生殖医療センター／腎泌尿器外科 大和俊介

1. 研究の概要

1) 研究の意義：治療開始早期に予後指標を予想する因子が存在すれば、1次治療から2次治療への変更タイミングの検討の補助となります。

2) 研究の目的：腎細胞癌に対して、免疫チェックポイント阻害薬+分子標的薬の併用療法または免疫チェックポイント阻害薬+免疫チェックポイント阻害薬併用療法を施行した患者に関して、治療前後の脾臓体積の変化量と治療開始からの治療効果が関連するか検討することを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者：2018年1月1日～2025年3月31日において、腎細胞癌に対して、1次治療として分子標的薬+免疫チェックポイント阻害薬併用療法(IO-TKI)または免疫チェックポイント阻害薬+免疫チェックポイント阻害薬併用療法(IO-IO)を実施した患者様

2) 研究期間：許可日より 2026年3月31日まで

3) 研究方法：IO-TKI療法の対象レジメンとして、レンバチニブ-ペムブロリズマブ、カボサンチニブ-ニボルマブ、アキシチニブ-アベルマブ、アキシチニブ-ペムブロリズマブ。IO-IO療法のレジメンとして、ニボルマブ-イピリブマブの各レジメンを対象とします。

患者背景、病期分類、IMDCリスク分類、治療前検体検査、治療開始後の検体検査、レジメンの内容、画像検査結果、治療開始後の経過に関する情報収集を行います。

次に、VINCENT®を用いて、脾臓体積の抽出を行います。

これらのデータをもとに、主要評価項目、副次評価項目の解析を実施します。

4) 使用する試料の項目：該当はありません

5) 使用する情報の項目：患者背景、治療に関連する情報

・患者背景情報

生年月（または年齢）、性別

胸部CT、腹部CT

身長、体重、血圧、脈拍、体温

病理組織検査

・薬物治療開始直前検査データから収集

血液検査：白血球数、白血球分画、血小板数、リンパ球数、単球数

生化学検査：CRP

・観察期間中の検査・評価項目

治療開始後1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後のデータから収集

血液検査：白血球数、白血球分画、血小板数、リンパ球数、単球数

生化学検査：CRP

胸腹部CT：腫瘍径(標的病変)、脾臓体積

有害事象

6) 利用又は提供を開始する予定日：許可日

7) 情報の保存：

研究対象者の個人情報は個人情報を特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報はインターネットから隔離された三重大学医学部附属病院内の仮想環境下に保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後5年または研究発表後5年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。

また、保管される既存試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。また、その際は情報公開文書を作成し、当院のホームページ「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開」(<https://mie.bvits.com/rinri/publish.aspx>)

で公開したうえで、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保障します。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別ができないよう措置を行います。提供先が外国の研究機関や外国企業の場合には、その国でのプライバシー保護規定が定められていることを確認した上で、患者さん個人を特定できる情報を含まない形にして提供します。

また、近年、データの正確性を見るために、論文の出版社からデータの提出を求められることがあります。また、全世界の研究者が、論文のデータにアクセスできるようにし、研究を行うことがあります（データシェアリングといいます。）。両者とも、個人を特定できなくした情報しか提供しませんので、これにより個人を特定されることはありません。

8) 情報の保護 :

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

9) 倫理審査 :

三重大学医学部附属病院または医学部・医学系研究科内で行われる全ての臨床研究は、研究に参加される方の人権や安全性の保護および科学性について問題がないかを三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会で審査され、その意見をもとに病院長または研究科長が許可したものののみ実施されます。本研究は、三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会において審査を受け、病院長または研究科長の許可を得ております。

10) 研究資金源及び利益相反 :

本研究では三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 燐学寄附金（企業以外）、日本学術振興会科学研究費を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

11) 研究計画書および個人情報の開示 :

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

12) 研究への使用を希望されない場合 :

あなたの試料・情報が 研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様

に不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

13) 代表研究機関および共同研究機関

代表研究機関名・研究代表者：三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 井上貴博

共同研究機関名・研究責任者：

伊勢赤十字病院 泌尿器科 大西毅尚

愛知県がんセンター 泌尿器科部 小島崇宏

<問い合わせ・連絡先>

担当者：三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 大和俊介

電話：電話：059-232-1111（平日：9 時 30 分～17 時 00 分）